



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL http://www.foster.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,032	38.2	3,991	197.0	4,065	158.0	2,767	453.0
25年3月期第2四半期	58,637	12.6	1,343	169.1	1,575	158.4	500	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,078百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △678百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	118.63	103.52
25年3月期第2四半期	21.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	105,708	47,286	42.1	1,909.69
25年3月期	94,480	42,624	42.5	1,722.91

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 44,551百万円 25年3月期 40,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	10.8	8,000	45.0	8,000	50.4	4,800	44.0	205.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	23,506,015株	25年3月期	23,506,015株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	177,046株	25年3月期	177,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	23,328,995株	25年3月期2Q	23,329,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における世界経済は、緩やかながらも回復基調にて推移いたしました。米国では雇用情勢や新車販売の持ち直し等により好調に推移いたしました。量的緩和策の縮小観測が新興国に通貨下落等の影響を及ぼしました。欧州では、政府債務問題に起因する信用不安が依然あるものの、景気に底入れの兆しが見え始めました。一方、中国をはじめとする新興国では成長ペースが鈍化いたしました。わが国経済は、各種政策の効果が発現する中、円安、株価の上昇等景気回復への期待感が膨らみました。

当社グループが属する電子部品・電子機器業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末向け部品が引き続き拡大し、車載向け部品も好調に推移いたしました。一方、従来型PCや薄型TV向け部品は苦戦を強いられました。

このような経営環境のもと、当社グループは、市場変化を捉えた営業戦略に基づく受注確保と、業務効率や生産性の向上及び資材費削減等の原価低減活動に取り組みました。

携帯電話用ヘッドセットは全般的に需要が旺盛であったこと及び新機種向けの出荷が順調に推移いたしました。また車載用スピーカの需要増に対応するため平成25年（2013年）6月には、中国広東省河源工場に第3工場を増設いたしました。加えて本年度の重点課題である新商品及び新市場の開拓を推進するため、同じく6月に、ブラジルを中心とする南米での車載用スピーカ販売のシェア拡大を目指して、現地の商習慣や税制を熟知しているThomas KL Indústria de Auto Falantes, Ltda.への出資を決定いたしました。さらに8月には、当社がこれまで参入できていなかった警報音用ブザー・サウнда、接近通報音用スピーカ等の製品ラインアップを拡充するため、スター精密株式会社の小型音響部品事業を当社が譲り受けることで合意いたしました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、期初の想定よりも円安にて推移したことにより計画を上回り、81,032百万円（前年同期比38.2%増）となりました。利益面につきましても、円安で推移したことや原材料価格が落ち着いたこと、さらには生産性が改善したこと等により、連結営業利益は、3,991百万円（前年同期比197.0%増）、連結経常利益は4,065百万円（前年同期比158.0%増）、連結四半期純利益は2,767百万円（前年同期比453.0%増）となり当初予想を上回りました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[音響部品・製品事業]

アフターマーケット向けオーディオ用ヘッドホンは計画通りに推移したものの、薄型TV用やオーディオ用のスピーカ・スピーカシステム及びモバイル機器用ドックスピーカは低迷いたしました。

その結果、当事業の売上高は11,869百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

[自動車用部品・製品事業]

車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産、出荷は、引き続き北米市場がグローバル需要を牽引いたしました。国内は軽自動車とハイブリッド車を中心に好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は23,938百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

[情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は、堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は44,428百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

[その他]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は794百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は主にたな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ11,228百万円増加して105,708百万円となりました。負債は主に借入金の増加により前連結会計年度末に比べ6,565百万円増加して58,421百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ4,662百万円増加して47,286百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比0.4ポイント減の42.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより5,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の支出は、たな卸資産の増加等により354百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により2,150百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加等により2,442百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年(2013年)5月2日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、修正が必要であると判断した場合には速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートは、期初計画値1USドル=95円、1ユーロ=125円に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,581	7,333
受取手形及び売掛金	28,582	31,421
電子記録債権	—	543
製品	14,044	20,646
原材料	8,151	8,254
仕掛品	1,256	1,397
貯蔵品	292	353
短期貸付金	16	35
未収入金	1,562	1,515
未収還付法人税等	32	25
前渡金	233	203
繰延税金資産	838	923
その他	1,640	1,767
貸倒引当金	△771	△770
流動資産合計	62,460	73,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,027	9,470
機械装置及び運搬具（純額）	11,770	11,290
工具、器具及び備品（純額）	3,211	3,047
土地	1,004	959
建設仮勘定	1,383	914
有形固定資産合計	26,396	25,682
無形固定資産		
のれん	105	56
ソフトウェア	224	277
借地権	750	806
その他	121	134
無形固定資産合計	1,202	1,274
投資その他の資産		
投資有価証券	2,434	2,879
長期貸付金	37	40
長期前払費用	1,377	1,613
繰延税金資産	149	152
その他	430	423
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,420	5,099
固定資産合計	32,019	32,057
資産合計	94,480	105,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,758	13,640
電子記録債務	—	187
短期借入金	19,523	22,276
1年内返済予定の長期借入金	1,342	1,255
未払金	4,391	3,628
未払法人税等	296	499
未払費用	1,489	1,480
繰延税金負債	682	1,003
賞与引当金	606	1,156
その他	549	765
流動負債合計	40,639	45,894
固定負債		
新株予約権付社債	6,000	6,000
長期借入金	3,958	5,068
繰延税金負債	569	742
退職給付引当金	234	263
役員退職慰労引当金	72	66
資産除去債務	218	220
その他	164	165
固定負債合計	11,216	12,526
負債合計	51,855	58,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	33,911	36,329
自己株式	△133	△133
株主資本合計	43,921	46,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	712
為替換算調整勘定	△4,162	△2,501
その他の包括利益累計額合計	△3,728	△1,788
少数株主持分	2,430	2,735
純資産合計	42,624	47,286
負債純資産合計	94,480	105,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	58,637	81,032
売上原価	50,972	69,384
売上総利益	7,665	11,647
販売費及び一般管理費	6,321	7,656
営業利益	1,343	3,991
営業外収益		
受取利息	47	62
受取配当金	15	15
為替差益	173	14
雑収入	208	219
営業外収益合計	445	311
営業外費用		
支払利息	113	108
雑損失	100	128
営業外費用合計	213	237
経常利益	1,575	4,065
特別利益		
固定資産売却益	—	69
国庫補助金	—	40
特別利益合計	—	110
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,575	4,175
法人税、住民税及び事業税	429	1,031
法人税等調整額	517	231
法人税等合計	946	1,263
少数株主損益調整前四半期純利益	629	2,912
少数株主利益	128	145
四半期純利益	500	2,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	629	2,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△223	278
為替換算調整勘定	△1,084	1,886
その他の包括利益合計	△1,307	2,165
四半期包括利益	△678	5,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△731	4,707
少数株主に係る四半期包括利益	52	371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,575	4,175
減価償却費	1,874	3,248
のれん償却額	48	48
前払年金費用の増減額(△は増加)	△31	△45
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	39
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	△47
賞与引当金の増減額(△は減少)	304	547
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△69
受取利息及び受取配当金	△63	△78
支払利息	113	108
為替差損益(△は益)	△286	506
売上債権の増減額(△は増加)	△504	△2,875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,271	△6,135
仕入債務の増減額(△は減少)	5,402	1,564
未収入金の増減額(△は増加)	△212	121
立替金の増減額(△は増加)	△1,867	—
未払金の増減額(△は減少)	932	△876
前渡金の増減額(△は増加)	440	44
その他	9	214
小計	△4,495	482
利息及び配当金の受取額	63	78
利息の支払額	△113	△108
法人税等の支払額	△408	△839
法人税等の還付額	925	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,028	△354
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△6,409	△1,727
有形固定資産の売却による収入	12	147
無形固定資産の取得による支出	△39	△142
定期預金の増減額(△は増加)	△202	△345
短期貸付金の増減額(△は増加)	△13	30
長期貸付けによる支出	△6	△10
長期貸付金の回収による収入	5	9
長期前払費用の取得による支出	△432	△134
その他	54	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,031	△2,150

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,872	1,980
長期借入れによる収入	2,549	1,799
長期借入金の返済による支出	△129	△922
配当金の支払額	△233	△349
少数株主への配当金の支払額	△64	△64
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,994	2,442
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	395
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85	333
現金及び現金同等物の期首残高	5,603	5,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,517	5,692

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,421	17,750	25,494	969	58,637	-	58,637
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	14,421	17,750	25,494	969	58,637	-	58,637
セグメント利益又は損失(△)	954	885	△568	121	1,392	△48	1,343

(注) 1 セグメントの調整額△48百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,869	23,938	44,428	794	81,032	-	81,032
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	11,869	23,938	44,428	794	81,032	-	81,032
セグメント利益	640	1,321	1,994	84	4,040	△48	3,991

(注) 1 セグメントの調整額△48百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
音響部品・製品事業	オーディオ用及びテレビ用スピーカ並びにスピーカシステム、アンプ内蔵スピーカ、ヘッドホン等
自動車用部品・製品事業	車載用スピーカ及びスピーカシステム等
情報、通信機器用部品・製品事業	携帯電話用ヘッドセット及び小型スピーカ、業務用マイクロホン等
その他事業	「フォステクス」ブランドの製品、物流サービス等